

第72回 【2012年6月1日 金曜日】



Walking

『伊豆歩倶楽部』会報

伊豆歩の歌 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）
伊豆歩は 歓歩で完歩

平成24年度 伊豆歩倶楽部会員募集中！！

<平成24年4月1日~平成25年3月31日>

【会費】 継続会員 2,000円/年 家族会員 1,000円/年
新規会員 3,000円（入会金 1,000円 年会費 2,000円/年）
日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年
日本ウォーキング協会より情報が届きます。全国のウォーキング情報が満載！！

【納入方法】 郵便振替用紙にて『通帳番号10150-記号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。
例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額を記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡しく下さい。

第116回 伊豆歩倶楽部 6月例会

「三保の松原と国宝久能山東照宮と県立美術館めぐりウォーキング」 14 Km

前回、延期になりました「三保の松原」・「国宝久能山東照宮」・「県立美術館」までの日本平ハイキングコースを歩きます。

【日程】 2012年6月17日（日）[貸切バス利用]

【会費】 会員 4000円 一般 4500円（予約は会員を優先します。）
会費には、拝観料、ロープウェイ代、入館料を含みます。

【募集人員】 40名（定員になりしだい締切りといたします。）

【コース】 湯の花観光交流館（5:00） 伊豆急下田駅（5:20） 伊東駅（7:10）
伊東マリンタウン（7:15） 大仁道の駅（7:45） 国道1号道の駅「富士」
（8:45） 10:00 三保の松原ウオーク 羽衣の松（11:30） [昼食]
国宝久能山東照宮・拝観（12:30） 日本平ロープウェイ（14:00）
県立美術館（15:30） エスパルスドリームプラザ（17:00）
大仁道の駅（19:20） 伊東駅（20:00） 伊豆急下田駅（21:40）
湯の花観光交流館（22:00）

昼食・夕食は各自で用意して下さい。

70歳以上の方は、県立美術館の入館料割引がありますので、年齢を証明できる物（免許証・保険証等）を持参して下さい。

参加者募集中。あと5名ほどあきがあります。参加希望者は「氏名・会員番号・住所・電話番号・乗車希望場所」を明記してFAXにて下記にお申し込み下さい。

【問合わせ】 伊豆歩倶楽部事務局（渡辺）TEL・FAX：0558-62-0454

第117回 伊豆歩倶楽部 7月例会

「尾瀬沼から尾瀬ヶ原縦走ウォーキング」 22 Km

【日程】 2012年7月6日（金）・7日（土）・8日（日）
（2泊3日 車中1泊・尾瀬沼畔長蔵小屋泊 6食）

【出発時間】 南伊豆町 22時（予定）

【帰り時間】 南伊豆町 22時30分（予定）

【会費】 約30,000円

【募集人員】 40名（定員になりました。ありがとうございます。）

【コース(予定)】	バス	[歩行時間/距離]	ウォーキング・・
6日(金)	湯の花観光交流館(22:00)		伊豆急下田駅(22:20) 伊東駅(0:10)
	伊東マリントウン(0:15)		
7日(土)	厚木IC 会津高原(シャトルバス)	海老名SA 桜枝岐村(朝食)・村内散策	蓮田SC 西那須野塩原IC 御池駐車場
		山の駅沼山峠・・ [50分/2.3Km]・・	
		大江湿原・・ [20分/1.0Km]・・	尾瀬沼畔長蔵小屋(昼食)
		【歩行時間 約1時間10分/距離 3.3Km】	
	自由行動(宿泊)		
8日(日)	尾瀬沼畔長蔵小屋・・ [1時間/3.3Km]・・	沼尻休憩所・・	
	[2時間/5.0Km]・・	見晴(十字路)・・ [40分/1.6Km]・・	
	竜宮・・ [1時間20分/4.4Km]・・	山の鼻(昼食)・・	
	[1時間30分/3.3Km]・・	鳩待峠(専用バス)	
	岩鞍リゾートホテル(入浴)	沼田IC	練馬IC
	厚木IC	伊東	下田 南伊豆
	【歩行時間 約6時間30分/距離 17.6Km】		

首都圏からの参加者の有無によりバスのコースは変更されます。
参加者には、後日詳細日程、尾瀬ウォークの心得等を送付致します。

【問合わせ】 伊豆歩俱樂部事務局(渡辺) TEL・FAX: 0558-62-0454

例会報告

静岡県第7回 合同ウォーキング

第7回県ウォーキング協会合同ウォーク大会は、5月13日に茶と文化の里・旧東海毎日坂宿を歩く23キロのコースで行われた。好天に恵まれ、県協会加盟団体の会員と一般参加の計117人が緑の風が吹く茶畑の道を楽しみながら理解を深め合った。次回合同ウォークは11月23日、伊豆歩俱樂部防担当し、湯の町・熱海を歩く。

静岡県ウォーキング協会 様

拝啓 新緑の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は(社)日本ウォーキング協会の事業種加にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

美しい新緑のもと「茶と文化の里・旧東海毎日坂宿を楽しむ」をテーマに第7回合同ウォーキング大会が盛大に開催されること、心よりお喜び申し上げます。

心身の健康づくり、環境への配慮、地域の活性化、国土の資源再発見、明るい健康な社会づくり等を目的とし、県協会の総力を結集し、加盟団体が一丸となって、元気なウォーキング大会を挙行されることに際し深く敬意を表します。

是非、大会を盛り上げ、静岡から全国に勇気と感動を与える大会にして下さい。

今回「九州国際スリーデーマーチ」と重なり激加に廻りかけることが、出来ませんが、次回大会には役員の派遣をいたしたいと思っております。現在、JWAは再生・再建の途上にあります。皆様方のご協力を得、徐々ではありますが、立ち直りつつあります。

また、今年度新公益法人移行申請に向けての大きな課題もありますが、県協会の皆様方と充分連携をはかりながら事業種加を邁進していきたいと考えておりますので、今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年5月13日 社団法人 日本ウォーキング協会 会長:宮下 充正

例会に参加される際は、必ず名札を見える所に付けて下さい。また、例会以外のウォーキングの会に参加される時にも、名札を付けて参加していただくと、初めての方とのコミュニケーションもスムーズに!! 『名札を付けてレッツウォーク! ウォーキングの輪を広げましょう』

事務局便り

8月例会予告 8月26日(日)「暑気払い/下田・高根山」(下田市)

9月例会予告 9月23日(日)「松川湖ウォーキング」(伊東市)

後日詳細をお知らせいたします。

どなたかご存知ないですか？

「909 平家言」様 会費の振込みがありました。住所が分からず連絡がとれません。

どなたかお知り合いの方がいましたら、連絡先を教えてください。

『南伊豆古道 現況調査報告書』 から抜粋

第3章 「南伊豆古道」にまつわる物語

1 仲子姫とお安の悲話

慶長14年(1609)10月17日、伊豆七島の海嘯は、大時化が続き早朝まで荒れ狂っていた。高波もようやく静まりかいていた。長津呂の舟付き場では地元漁師達は、網や漁具の損失を心配し、呆然と沖を見つめていた。慶長10年(1605)頃より、土肥 湯ヶ島 修善寺、縄地で金山発掘が頂点であったため、この南伊豆の海は横断が多く、船の墓場とも言われていた。

沖を見つめて立ちつくしている漁師達の目前に、小さな船が木ノ葉のように、岩場を打ち寄せられた。漁師達の手によって船が引寄せられた船中には、数人ぐったりとして、生死の見分がつかぬ状態で放心していた。

この数人の中に美しい着物の姿の若い女性が震えていた。この騒ぎで兵の人々は集まり、騒然となった。難船の者達の話しによると、「私達はある事件の掟により慶長14年10月12日、伊豆の国網代港より奉行の指示で、新島に遠島されるはずであったが、この稀なる大時化で、大島にも流着出来ず5日間の漂流の末、この港についたのです。

この者の中には、京都公家の一人で前中納言中院道勝の娘、権典寺中院仲子姫(ごてんじなかのいんなかこひめ)がおられます。どうかお助け下さるように」と哀願される。土地の豪族御簾三河守は、なんとかこの者達の保護をせねばと奔走する。長津呂白水城 城主御簾三河守は流人を長津呂で、幕府に届かすも無く無断で保護隠蔽したとの疑念を恐れ、南伊豆奥地の二条久田村名主、鈴木主水助庄右衛門に託すこととなった。そして仲子姫とお安は二条久田村名主に、逗留されることになる。

この事件より7年後、元和2年(1616)下田奉行が設置され、特に遠島流人に対する掟が厳しくなり、久田村名主鈴木主水助庄右衛門(代々三島神託司官であったとあるが、何処の三島村かは不明である)。このことには事のまかり痛まれて、仲子姫を守っていたと伝えられている。さてこの権典寺中院仲子姫(ごてんじなかのいんなかこひめ)が、遠島の罪に刑を受けることとなったかを語りましょう。

慶長5年(1600)関が原以後徳川家康隠居の後、秀忠の時代となる。武家の威光を正すべく、政治の支配を受つづつ体制を整えつつの時、「武家者去度」を発令した。まもなく慶長14年7月4日、御賜成天皇にお任する官女5名、参議、中將、少将など9名で、官中騒乱事件が発生した。

これが発覚して帝の怒りを蒙ることとなった。この事件は家康が宮中支配を窺うに、絶好の機会となり独自の素断をつよめ、首謀者以下磔刑遠島流罪という結果を招いた。御賜成天皇は、慶長16年家康の圧力を受け、退任することになった。

「禁中秘色事件」として処断される。磔刑男女各1名、死刑男子1名、遠島男5名、女4名、解職実刑なし男2名となった。その中に公家御三家の1人で、前中納言大学中納言足利道勝の娘で、16歳になる権典寺中院仲子姫がいた。そして、慶長14年10月1日遠島の我が下され、その結果前文の通り長津呂に漂着となった。

仲子姫の父は東の空を拝み京都で臣の行く末を案じて、兄の従四位下左近衛少尉侍中院通村に託して、慶長15年2月25日(66歳)で死去した。父の通村は原氏学者として、学文にも優れて器量した人でもあった。

兄通村は後水尾天皇に信任も厚く、妹の赦免を願うややく、元和9年9月5日赦免状が出され早速権典寺中院の使者は、南伊豆二条久田家の仲子姫へと疾駆した。

この時仲子姫は、30歳になっていた。久田家で14年歌謡ご付き添って来た侍女お安と2人で、この日を千秋の思いで待って来た二人であったが、お安は今身重の体になっており、姫を連れて行くこともかなわず、一人で京へ帰ることになる(お安とはお別れを言わねばならなかった)。出立の時、形見の品として姫の手鏡と護り刀を、久田家鈴木主水助庄右衛門に、14年間お世話になったお礼を兼ね、権典寺書品として、備前長船所定の名刀二振が遺されたという。

長年住み慣れた二条久田家や、自然の山、畑、田に感謝し、鈴木主水助庄右衛門の案内で下田港に向った。お安は身重の体を押し、せめて下田港までもと見送りに同道した。久田家を出て、見納家の裏山を登り、寺ヶ谷から芋治屋のほら、加納の芝田(中央公民館の所)へ下りる。さらには田を越えて青野川の落合の浅瀬を渡り、落合洞から奥山峠を越え、青市の惣町へ抜ける。さらに山田を通り、上組に至り田端家から上條洞に入り、大賀茂の柳沢に出で、ここから下田港までは、現在の道とはさほど変わらないという(南史より)。

山田の洞を登り今は通る人も無くなった、隠野から大久保への道を下り、もう少しで上組の部落が見えるという小川のほとりで、お安は産気づき地元の人達の手厚い看護もむなしく、子供を産むことも叶わず、川岸の小屋で尺蠖と蚊に悩まされるが、これらを息、払う力も失せて、青市の名主鈴木主水の手をにぎり、姫の無事を祈り絶命したという。

仲子姫は下田港から、迎えの使者と船で網代えのまじ、駿府を経て、東海道を京へ戻られたという。姫はその後青市の部落に、お安を苦しめた尺蠖と蚊を無くなるようにと、子女神社を奉納されて、尼となって、80歳の長命でこの世を去ったそうです。京都御所近くの慮山寺(紫式部の育った寺)にお墓が建立され、命日は6月27日、80歳となっているようです。

また、お安の墓は南伊豆青市の浦谷川の川岸に自然岩で建てられて、安下段下の高橋家にて丁寧に奉られています。姫より奉納された子女神社は、安下段下の上にあったが、長年の劣化で倒れ、今は300米程の上の山手にある、三島神託司に安産の神として、子供を抱いた木像が祀られています。仲子姫の遺品として下された名刀は鎌倉時代に没収され残ってはいないそうです。姫の形見は無くとも、現在地元の人達は末長くまつてくれるでしょう。

(追記)

南伊豆町には 一条 二条 三条 九条 上賀茂 下賀茂などの地名がある。加えて都の官人、役人が当地に赴任して、都を想いこの名が残ったのではと、云う説もあるがはっきりしたものは残っていないようだ。

また流人については、奈良時代唐の制度に倣って、島流しの刑が定められてからのこととされている。伊豆に流されたのは、政争、合戦での敗北、宗教の弾圧に遭った人々であった。なかには、文武天皇の代に流された役者小角、保元の乱の鎮西八郎隆朝、平治の乱の源朝臣承安の文覚上人、小野東人、小野小町一族、日蓮、範頼、頼家、支那の高僧一山、前権典侍中院、関が原の敗軍の将軍喜多秀家などがいた。流罪は明治維新を迎えて、正式に廃止となった。恩赦を受けた伊豆の流人は168人、子孫も何人か内地に帰ったという。終身刑の八丈に流された宇喜多の子孫亡人も秀家の死後260年を経て恩赦を受けたとある。

(参考資料)

- ・『南史』 南伊豆南史会発行
- ・『伊豆大辞典』 伊豆学研究会(羽衣出版)
- ・『南豆神話』 足立敏太郎著(羽衣出版)
- ・『南川日本地名大辞典』 (22 静岡県)
- ・『私の原風景』 関榮市郎著(日本大学館出版)

(清水 政悦)

【 好評販売中!!! 】

『南伊豆古道 現況調査報告書』 一冊2,000円(郵送料290円) 振込み手数料は購入者負担

注文先事務局 FAXにて(住所・氏名・電話番号・注文部数)を記入して注文

〒415-0303 賀茂郡南伊豆町下賀茂201-4 瀧辺芳男宛て

電話・FAX 0558-62-0454

月例会でも販売しますので、お声をかけてください。

さすらい人京さん(34)

伊豆歩俱樂部会員 402 大窪 正幸

休憩後、富士山、大室山方向を見ましたが、残念ながら空気が悪く見えませんでした。再々リベンジしなければなりません。下りは6号路「びわ瀧コース」3.3km約1時間30分を予定していましたが、台風の影響なのでしょうか、通行止めとなっており「稲荷山コース(尾根コース)」3.1km約1時間30分に変更。下りの方が登りより足に負担がかかることからゆっくり下山を開始。尾根コースと言われるだけに勾配はきつくやや難儀する。紅葉を目に焼き付けながら2km下った稲荷山への東尾に到着し、ここで小休止。ここからの八王子市街地の眺望がまた良い。残り1.1km30分がゆっくり高尾山駅に下る。時々、逆コースから登って来る人と挨拶を交す。また「京さん」を振り返り行く、山ガールもいます。

予定の時間に高尾山駅に全員着き、安着する。難儀はしましたが、全員が完歩できたことかなによりでした。今回も登山者260万分の一の中に数えてもらえそうです。登山口での記念写真の笑顔をお忘れず、今後もお互い楽しく笑顔でウォーキングしましょう。

参考(健脚度) 稲荷コース星4つ、1号路・6号路コース星3つ。

一句 **冬紅葉 膝も笑うや 高尾山**

「次回 東京」

ウォーキングの感想・いざい歌留多・伊豆歩俳壇投稿先: FAX0558-62-0454 伊豆歩俱樂部事務局次長・瀧辺芳男 宛て
原稿は手書きでOK! 例会の感想・県外でのウォーキング参加の体験談など・・・自由にお寄せ下さい。多く会員皆様の投稿をお待ちしています。

<事務局より>

伊豆歩歌留多は、伊豆半島を「いろは」48文字で始まる「かるた」で綴り、伊豆観光のツールの一つとして作り上げようとの主旨のもとで始めました。始めて以来、48文字の内、28文字で始まる「かるた」が投稿されております。まだ20文字で始まる「かるた」の投稿がありません。

ちなみにお未投稿の文字は「へ」「り」「ぬ」「る」「は」「よ」「れ」「つ」「ね」「ら」「よ」「の」「け」「ゑ」「も」です。
奮ってご投稿下さい。

<p>にぎやかに 見て見ると 河津花盛り 大窪 正幸</p>	<p>にぎやかなの 声に誘われ 爪木崎 大窪 正幸</p>	<p>碧海に 遊覧船や 下田港 大窪 正幸</p>
<p>小さき春 たらい岬に 届きかな 大窪 正幸</p>	<p>長八や 漆喰こて絵の すばらしさ 大窪 正幸</p>	<p>空色の 機嫌うかがい 歩歩歩歩歩 ゆきみ</p>

・ホームページアドレス <http://www.izuhorclub.com>

・メールアドレス info@izuhorclub.com

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩留多」・「いたずら歌留多」・「伊豆歩留多」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。

会報への投稿は 毎月20日までご願 致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩俱樂部事務局 TEL&FAX 0558-62-0381

〒415-0153 静岡県賀茂郡南伊豆町手石747 杉本育男

【発行 伊豆歩俱樂部事務局】

下田市吉佐美 ペンション ゲストハウス アーヴァン

吉佐美大浜駐車場目の前の好立地 『海洋浴』で心も体もリフレッシュ!!
サーフィン・ボディボードなど海を楽しみたい方や、ウォーキングライフを応援します
カップル・家族・グループ旅行にご利用下さい。お気軽にお問合わせください。
夏のご予約承り中!!

静岡県下田市吉佐美2620 0558-23-2635

<http://www.e-urvan.com> info@e-urvan.com



ゆったりした海岸線、きれいな海でお楽しみ下さい。【舞磯の浜】